

報道関係者各位

2022年10月6日
株式会社アイネット

横浜国立大学とのデータサイエンス・インターンシップ・プログラムを開始

独立系のデータセンタープロバイダーである株式会社アイネット(東証プライム市場上場、本社：神奈川県横浜市、代表取締役：坂井 満、以下「アイネット」)は、2019年12月国立大学法人横浜国立大学(神奈川県横浜市、学長：梅原 出、以下「横浜国立大学」)と「包括連携協定」を締結し、以降共同研究や人材の交流など、多面的な連携関係を構築中です。

今般、連携の更なる深化を図るため、今年度よりデータサイエンス・インターンシップのプログラムを開始し、毎年横浜国立大学 経営学部の Data Science Education Program (DSEP：ディーセップ、以下「DSEP」)に属する学生を受け入れ、人材育成面において協力することで合意いたしました。

1. 初年度のインターンシップ概要

(1)実習期間：2022年度下期(90時間以上)

(2)実習テーマ：データセンター事業におけるAI活用

(次年度以降は、プロジェクトリーダー付き案件への参加も検討してゆきます)

【アイネットの中核ビジネス・データセンター事業の拠点、第1データセンター、第2データセンター】



2. 横浜国立大学 経営学部 DSEP の概要

横浜国立大学 経営学部 DSEP は、国公立大学の経営・商学部では日本初となるデータサイエンス教育プログラムです(2021年4月開設)。DSEPは、データ分析テクノロジーを課題解決や事業創造に活かすビジネス・リーダーの育成を目指しています。カリキュラムは実践に重きを置いたビジネス・リーダー育成教育に特徴があり、①入学直後の1年次春から始まる2名の指導教員によるデータ分析を活用したプロジェクトベースの少人数ゼミナール、②データサイエンスに携わる企業との連携講義、③企業の協力を得たデータサイエンス・インターンシップなどを実施しています。

当インターンシップは、入学当初から1年半に及ぶ少人数ゼミナールを修了したDSEP生に、学修したデータサイエンスのスキルを実践する場を提供することを企図したプログラムです。今回は、アイネットのデータセンター事業におけるAI活用プロジェクトへのDSEP生の参画により、学んだスキルの実践を通じて、それらを高めると共に、大学に戻ってから更に修得すべき知識・スキルを発見してもらうことを目指しています

3. 横浜国立大学との包括連携協定 <https://www.inet.co.jp/news/docs/20191211.pdf>

アイネットのIT企業としての技術やインフラ、人材、および横浜市、神奈川県内などに多数のお客様との接点を持つ強みと、横浜国立大学の21世紀グローバル新時代に活躍する人材の育成力を融合し、社会貢献を推進す

るために締結いたしました。本協定の連携・協力事項は以下の通りです。

- (1) 社会や産業が求める価値・課題の検討、研究開発テーマの選定
- (2) 共同開発、事業化、実装に向けた各種検討
- (3) 本連携に資する人材交流や意見交換会の実施
- (4) 情報セキュリティマネジメント体制構築に関する協力

以上

<横浜国立大学について> <https://www.ynu.ac.jp/>

横浜国立大学は、4つの旧制学校を母体に1949年に新制大学として設立された総合大学で、横浜市保土ヶ谷区常盤台のワンキャンパスに5学部・6大学院を有しています。

「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」を建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねることを憲章として宣言しています。

<アイネットについて> <https://www.inet.co.jp>

アイネットは、データセンターとクラウドコンピューティングを展開するとともにシステムの企画・開発から運用・監視までカバーする独立系ITサービスプロバイダーです。現在は、国内最高レベルのデータセンターをベースに、クラウドサービスビジネスを積極的に展開しており、自社のクラウド基盤上に業種業態を問わず利用可能なアプリケーションレイヤーのメニュー拡充を加速させています。一方システム開発事業ではAI、IoTなど先端の分野に注力するとともに、今後大きな市場拡大が見込まれている宇宙利用産業への取組みを本格化しています。

<お問い合わせ先>

株式会社アイネット

DC本部 R&D 推進室 荒川、下尾（しもお）

TEL : 045-682-0802

E-Mail : contact-rd@inet.co.jp